

# 阿倍野区の地域づくりについて ～フィールドワーク調査から分かったこと～

桃山学院大学ビジネスデザイン学部 2回生：近藤 渚 高畠 颯太郎 阿佐 泰成  
教員：濱島 敦博



## 桃山学院大学ビジネスデザイン学部 フィールドワーク調査について

「フィールドワーク」：ビジネスデザイン学部2年生の（必修）授業。

授業の狙い：この授業を通じて、社会の実態を適切に把握することの重要性を再認識し、実態把握のための調査手法を身につけてもらう。  
今年度は「阿倍野区の地域づくりについて考える」というテーマで実施。

授業の構成：「ヒアリング調査」と「アンケート調査」

ヒアリング調査：阿倍野区内の10地区の地域活動協議会の役員の方々を対象にインタビューを実施し、各地区が抱える問題や悩み、その要因等を定性的に把握する。（11/4、11/18）

アンケート調査：阿倍野区民を対象として街頭アンケート調査を実施し（n=749）、地域活動やイベントへの参加状況や意向を定量的に把握する。（11/18、12/2）

## ヒアリング調査から分かったこと

阿倍野区の地域づくりにおいて、次のような問題を抱えている。



地域活動への  
参加率が低いこと



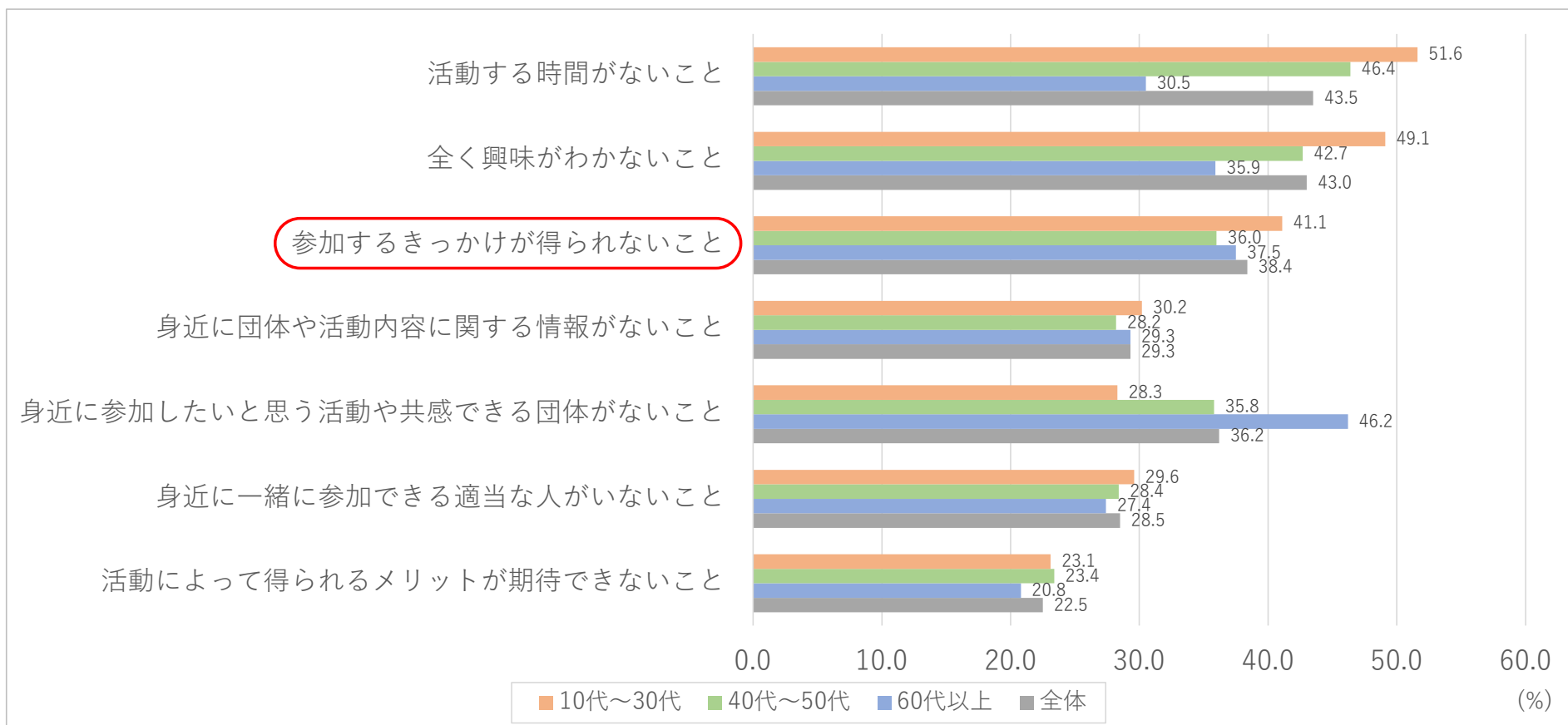
情報発信方法  
(SNSをどう活用する?)



役員の不足  
(若い世代が少ない)

## 全国的な傾向：地域活動に参加できない要因

平成27年度版『厚生労働白書』



### 「10代~30代」の地域活動への不参加の要因

活動する時間がない（51.6%）、全く興味がない（49.1%）、**きっかけがない（41.1%）**

## 地域づくりに関心を持ってもらうために

### 地域活動の入口

これまで地域の活動やイベントに参加してこなかった人に参加してもらうためには？



### 情報を発信する方法

地域活動に関して、情報をどのように入手しているのか。どのように発信していくのが最適？



今日の報告では「入口」と「情報」という視点で阿倍野区の今後の地域づくりについて考える。

## アンケート調査結果

Q. あなたは、過去1年間で、地域のどのような活動・イベントに参加しましたか？（複数回答） n=749

活動・イベント項目	度数	比率
防災活動	123	16.4
防犯活動	96	12.8
環境整備活動	64	8.5
お祭り	251	33.5
子供向けイベント	125	16.7
住民間の交流イベント	80	10.7
中高齢者向けイベント	61	8.1
どれも参加していない	277	37.0

Q. あなたは、今後、地域のどのような活動・イベントに参加したいですか？（複数回答） n=749

活動・イベント項目	度数	比率
防災活動	165	22.0
防犯活動	119	15.9
環境整備活動	92	12.3
お祭り	286	38.2
子供向けイベント	159	21.2
住民間の交流イベント	116	15.5
中高齢者向けイベント	101	13.5
どれも参加しない	162	21.6

各活動・イベントにおいて、**参加状況 < 参加意向**

## アンケート調査結果

8割弱の人が  
今後、どれかの活動・イベントに  
“参加したい” と思っている。

Q. あなたは今後、地域のどのような活動・イベントに参加したいですか？（複数回答） n=749

表 2. 将来の地域活動・イベントへの参加意向

活動・イベント項目	度数	比率
防災活動	165	22.0
防犯活動	119	15.9
環境整備活動	92	12.3
お祭り	286	38.2
子供向けイベント	159	21.2
住民間の交流イベント	116	15.5
中高齢者向けイベント	101	13.5
どれも参加しない	162	21.6

潜在的な参加希望者は確実に存在する。

## アンケート調査結果

Q. あなたは、地域活動・イベントについて、どのように情報を入手しますか？（複数回答）

入手方法	度数	比率
回覧板	<b>233</b>	<b>45.7</b>
友人知人	136	26.7
掲示板	101	19.8
職場・学校	61	12.0
HP	<b>56</b>	<b>11.0</b>
個人SNS	42	8.2
公的SNS	32	6.3
その他	45	8.8
入手しない	55	10.8

**「回覧板」** から情報を入手する人が最も多い（45.7%）



## 地域活動への入口について

### お祭り

「お祭り」は参加状況（33.5%）参加意向（38.2%）。ともに最も高い。

#### 情報発信はされている （周知されている）

既に周知されているため、新たに（お祭りの）情報を発信したからといって、現状より地域への関心が高まるとは考えにくい。

#### 頻繁に開催されない （単発的・非日常的）

地域に関心を持ってもらうためには、日々の暮らしに直結する日常的な活動やイベントに継続的に参加してもらうことが重要。

非日常的な「お祭り」以外で、「入口」を探す必要

## 地域活動への入口について

### 防災活動

「防災活動」は参加状況（16.4%）参加意向（22.0%）となっており、ともに高い。特に、参加意向は2番目に高い。

日々の暮らしに直結するイベントや活動に  
多くの区民が関心を持っている

ヒアリング調査でも、地域への関心をもってもらうために「防災活動」を重視している地区が複数あった。

「防災活動」を「入口」として想定することは適切な取り組み

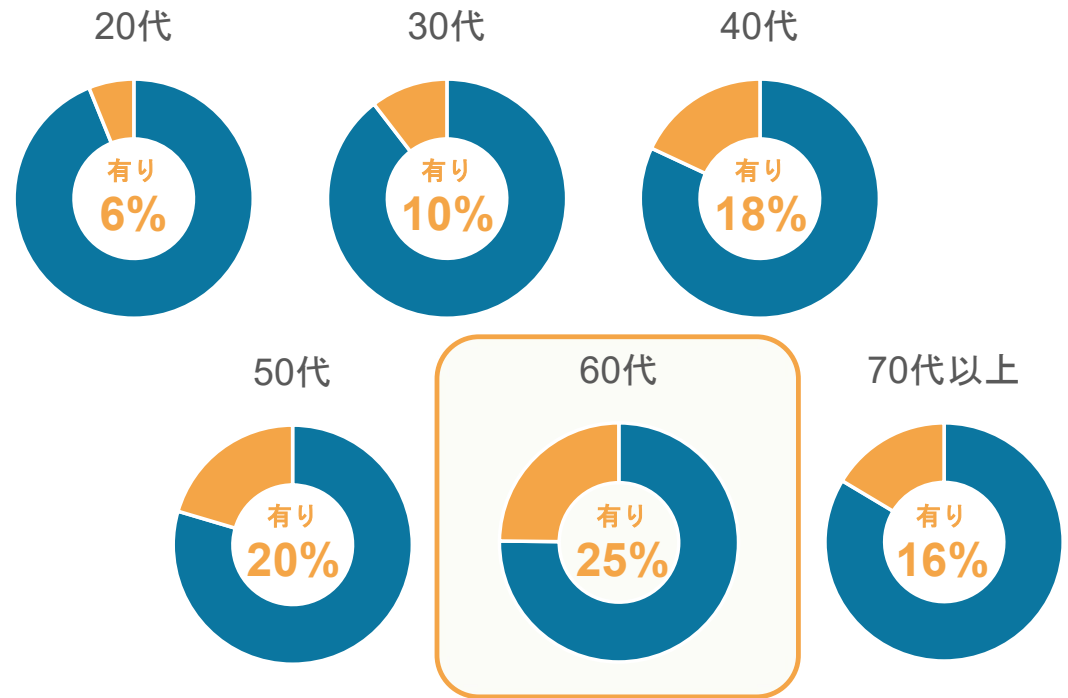
## 地域活動への入口について

### 防犯活動

単純集計：参加状況も参加意向も4番目

表4. 年齢と防犯活動への参加意向のクロス集計

属性		参加意向		計
		無し	有り	
年齢	20代	123	8	131
		93.9%	6.1%	100.0%
	30代	111	13	124
		89.5%	10.5%	100.0%
	40代	109	24	133
		82.0%	18.1%	100.0%
	50代	97	25	122
	79.5%	20.5%	100.0%	
60代	88	29	117	
	75.2%	24.8%	100.0%	
70代以上	102	20	122	
	83.6%	16.4%	100.0%	



年齢が高い方が参加意向が高い（60代が最も高比率。4人に1人）

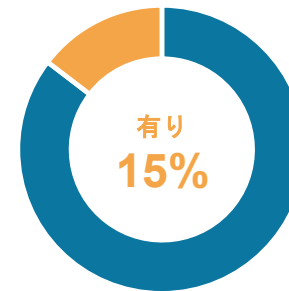
## 地域活動への入口について

### 防犯活動

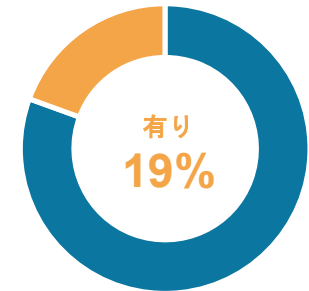
表5. 同居子供と防犯活動への参加意向のクロス集計

属性		参加意向		計
		無し	有り	
12歳以下の同居子供	いない	468	80	548
		85.4%	14.6%	100.0%
	いる	162	39	201
		80.6%	<b>19.4%</b>	100.0%

12歳以下同居子供  
いない



12歳以下同居子供  
いる



12歳以下の同居子供がいる人はいない人比べて参加意向が高い。

## 地域活動への入口について

### 防犯活動

(統計的解析の結果)

年齢が高いまたは、同居の子供がいる人のほうが防犯活動に参加する確率が高い

地域に関する情報を回覧板・HPから得ている人は、参加する確率が高い

表6. 防犯活動への参加意向に関する二項プロビットモデルの推計結果 n=510

説明変数	標準化係数	標準誤差	p値
年齢	0.146	0.047	0.002**
女性	-0.262	0.144	0.070
同居子供	0.486	0.163	0.003**
情報入手・回覧板	0.314	0.143	0.028*
情報入手・HP	0.656	0.196	0.001**
情報入手・掲示板	0.259	0.171	0.129
_cons	-2.011	0.264	0.000**

擬似R<sup>2</sup> 0.091 カイの二乗値 39.74\*\*

注：\*\*、\*はそれぞれ有意水準1%、5%未満で有意であることを示す。

## 防犯情報について

### 高齢者世帯

---



特殊詐欺（振込み）や押し売り  
に関する情報

### 子どもがいる世帯

---



不審者や交通安全に関する情報  
(リアルタイム)



## 情報発信方法について

ABENO

防災や防犯の情報発信はリアルタイムであることが重要



回覧板だけでなくホームページ・SNSの活用も必須

過去のSNS活用事例: 常盤地区 防犯、防災に関する情報をSNSで発信

### 現状

各地区の運営するSNS・LINE登録の案内を見たが、登録・フォローしている阿部野区民はまだまだ少ない。また、運営側において発信する内容を検討できていない可能性がある。

見てもらう工夫を含め、SNSを通じた情報発信の知識・スキル向上が必要。

# 阿倍野区の今後の地域づくりに向けて

## 提案

回覧板やHPを通じて  
公式LINEアカウントの情報発信

各地区単位の  
公式アカウントの運営

阿倍野区全体の  
公式アカウントの運営



### 阿倍野区公式LINE

生活を便利にする情報を発信

防犯情報・防災情報・ゴミ出し情報  
イベント日程・地域活動etc....



@484hbigb

#### ▼ 友だち追加方法

- 1 ホーム画面へ
- 2 友だち追加ボタンをタップ
- 3 「QRコード」から読み取る
- 4 友だち追加で完了



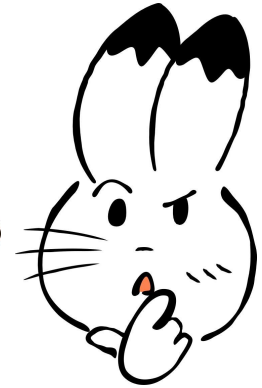
## 地域/町内会単位



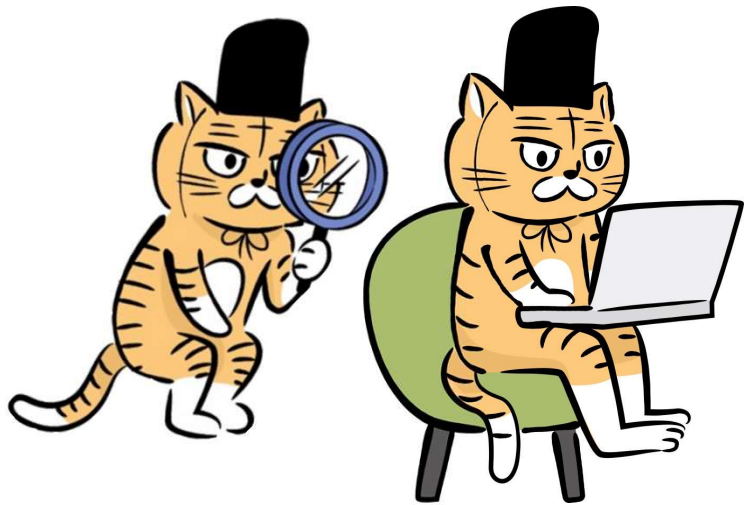
イベントの情報発信  
日々の暮らしに直結する情報  
(ゴミ出し時間の通知)  
安全パトロールや火の用心への参加の呼びかけ  
防災・防犯活動に参加することの大切さを伝える  
地域への関心を高めていく

## 地域/町内会単位

SNSでの発信において課題があるのではないかと...



学生に協力を仰ぎ、SNS運用の向上を目指す！



学生と共にSNS運用に取り組むことで、仕組みや必要なことを理解できる。

学生側も広報、広告の観点において学びになるというメリットがある。

★本資料中の情報やデータを転用、転載される場合は、下記の点にご留意ください。

- ・ 転用、転載の目的が地域づくりや地域活性化に寄与するものに限りませう。
- ・ 出所を下記の通り明記してください。

出所：近藤渚・高畠颯太郎・阿佐泰成・濱島敦博、「阿倍野区の地域づくりについて：フィールドワーク調査から分かったこと」、阿倍野区令和5年度地域活動フォーラム